

保利磯次郎（ほりいそじろう）（1/2）

～学校保健の発展に力を尽す～

巖木には大正7年（1918年）に造られた洋館建ての病院があります。保利磯次郎はこの病院の院長でした。福岡の医学校で学び、さらに東京帝国大学（現在の東京大学）の医学部に進み、6年間最新医学を学びました。その後も九州のいくつもの大学で勉強し、33歳のとき父文台の後を継ぎ、開業しました。

長年にわたり西洋医学の知識と技術を身につけた磯次郎の名声は高まり、患者は近くの村々だけでなく、遠くは長崎県や熊本県からも来たといえます。巖木の人々は「汽車が巖木駅に着くと、下車した患者の列が保利病院まで続いた」と、そのころの病院の盛んな様子を伝えています。磯次郎は、佐賀県の外にまで名が知れた名医でした。

35歳のとき、国は児童生徒の健康増進をはかるため、「学校医」制度をつくり、公立学校に学校医を配置することを決めました。村では村長など役員が相談し、巖木小学校の校医を磯次郎にお願いしました。磯次郎は「子どもは次の世代の日本を担う大切な宝」と考えていましたので、「体を養うことは知識や心を育てるもとです。私でよければやりましょう。」と引き受けました。

さて、校医の仕事をするうちに困ったことが出てきました。それは学校医が相談する場がなかったのです。磯次郎は東松浦郡内の校医みんなに呼びかけ、「東松浦郡学校衛生会」という会をつくりました。ここでは、校医同志の情報のやり取り、学校衛生についての調査や研究を行いました。

県内のほかの地域には、このような会の組織はまだありませんでした。やがて、この会が手本となって、佐賀県内に9つの「学校衛生会」ができ、磯次郎は佐賀県学校衛生会の副会長となり会を盛り立てました。

校医となって2年目の明治34年（1901年）、磯次郎は「私が毎日学校に出て児童の治療看護に当たることはできない。」とあって、自分の病院の看護婦を巖木小学校に派遣し、目薬をさしたり、消毒し薬をつけたり、時には児童たちの健康調査の仕事に当たらせました。

児童生徒を看護するときに、看護する人が必要なことは、どこの学校でも同じでした。磯次郎の看護婦派遣の試みは、だんだんと人の知るところとなり、その評判をきいて佐賀市内の小学校が看護婦を置くようになりました。

学校に看護婦を置く動きはだんだんと大きくなり昭和7年（1932年）佐賀県はその動きを重く見て、「学校看護婦資格試験」を行いました。この試験に合格した人が、県下の学校でしだいに採用されていくようになったのです。

～2/2へつづく～

分野 人物

地域 巖木

◎地図・写真・統計資料など



保利 磯次郎
(1865～1948)



保利病院
大正7年に建った洋館風の保利病院

(『郷土につくした人々』より)

◎引用・参考文献（出典）

◆『郷土につくした人々』
～ふるさと唐津の偉人たち～

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html

保利磯次郎（ほりいそじろう）（2/2）

～学校保健の発展に力を尽す～

～1/2からつづく～

明治40年（1907年）、小学校の教育を受ける期間が4年から6年に延長され、そのために小学校の児童数は増加し、巖木小学校も校舎の改築をしなければならなくなりました。磯次郎はこれまでの校医の体験から、校舎を建てるなら児童たちの看護に専念できる独立した医務室（保健室）が必要だと村長に建設をお願いしました。

しかし建てようにも県内には参考になるような医務室などありません。他県の小中学校にもありません。ただ東京高等師範学校に医務室があるだけで、磯次郎の医務室建設の試みはとても新しいものだったのです。村長は磯次郎の熱意に心をうたれ医務室の建設を認め、医務室は校舎と共に新築されました。

磯次郎は50歳を迎えても児童の健康増進のための取り組みをつづけました。夏休みになると体のひ弱い児童を集め、巖木の太谷の杉林の中で林間教室を開きました。運動や栄養に気を配って健康指導を行い、体力の向上につとめました。

さらに、体のひ弱い児童に対して1年間を通し、学校給食を与えました。同時に、食事のマナーや栄養についても指導しました。給食の成果をみるため調査も行いました。その中で、「給食の効果は著しい。全国の学校で実施されることを望む。」と述べています。これは昭和5年（1930年）のことです。

「子どもはこれからの日本を担う宝物」として児童生徒のため、学校の保健衛生の発展に取り組んだ磯次郎の仕事は、今も学校教育の中に生きています。

分野 人物

地域 巖木

◎地図・写真・統計資料など



巖木小学校養護室
明治41年佐賀県最初の養護室

（『郷土につくした人々』より）

◎引用・参考文献（出典）

◆『郷土につくした人々』
～ふるさと唐津の偉人たち～

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html